

創新

会報第21号（議会報告）

江田島市議会議員

胡子 まさのぶ



ごあいさつ

いよいよ平成26年も折り返しです。平成16年11月1日に誕生した江田島市も10周年を迎えます。

5月30日に公布された改正地方自治法により新たな地方自治の仕組みが来年度からスタートします。先日、総務省の公募に対して広島市が山口県の岩国・柳井を含む周辺16市町と連携した「新たな広域連携モデル構築事業」に応募して選ばれました。国が目指す『広域連携』は少子高齢化・人口減少社会により単都市町村ではシビル・ミニマム（市民が生活していくのに最低限必要な生活基準）を維持できない場合を想定して、中心的な市（ここでは広島市）が圏域の経済

を牽引し、圏域全体の生活関連機能サービスの向上（平たく言えば周辺自治体を支援）を期待するものです。江田島市としても行政・市民・議会でも将来の『島の在り方』について考えていかなければなりません。

6月定例会 一般質問

Q 広島市との連携はどうなるか

A 調整を図り進める

【胡子】江田島市を含む16市町との連携を想定する広島市の地方中枢拠点都市構想と4月16日に江田島市と広島市が締結した「海生交流協定」をどう組み合わせるか。

【市長】「海生交流協定」の理念や取組は新たな連携協約にも活かせるかと考えます。

【胡子】地方中枢拠点都市構想の検討スケジュールはどうか。

【市長】広島市は今年度内を目的に連携協約に盛り込む施策を周辺地方公共団体と調整し、宣言したいとされており、平成27年度に連携協約締結、平成28年度当初から具体的な取組を開始すると想定されています。現在は事務レベルで施策について検討しており、広島市と調整を図りつつ手続きを進めます。

【胡子】第2次江田島市総合計画との関連及び重点的な連携分野の方向性はどうか。

【市長】広島市の都市機能性と江田島市の豊かな環境を活かした市民生活の満足度の向上や交流の促進等を積極



的に盛り込んでまいりたい。
旧大君小学校跡地の利活用について

【胡子】平成20年12月にも旧大君小学校跡地を『道の駅』にはどうかと質問したが、このたび産業振興に伴う旧大君小学校グラウンドの一部貸付が行わ

交通問題調査特別委員会

3月26日に市長が市営船について平成27年4月1日を開始日として公設民営（指定管理者制度）に舵を切る方針を表明したことを受けて、6月13日の委員会で業者選定・手続等についての意見を取りまとめました。

れる予定だが、将来的に「道の駅」を検討してはどうか。
【市長】旧大君小学校は現在「大君まちづくり協議会」が使用されています。地域の賑わいづくりについて、今回の産業振興施設の状態を踏まえ、地域の理解を得ながら進める必要があり、その中で「道の駅構想」を含めた検討を考えます。

- ① 指定管理者の募集に当たっては、日程（募集時期や日数）の適正化を図ること。
- ② 指定管理者の選定に当たっては、外部から航路運営に精通した学識経験者等を特別委員

- として2名以上審査委員に加えること。
 - ③ 業者選定における審査の経過及び結果を公表すること。
 - ④ 船員等雇用は、江田島市内での雇用促進を図ること。
- 交通問題調査特別委員会
委員長 林 久光
副委員長 花野伸二
委員 浜西金満
胡子雅信
片平司
中下修司
上本一男
平川博之